

2024年(令和6年)10月24日(木曜日)

来月3日 古川のまつり広場でイベント

飛騨3蔵 日本酒飲み比べ

飛騨市内の3酒蔵の日本酒を楽しめるイベント「飛騨三蔵まいり」が11月3日午前10時～午後4時、同市古川町のまつり広場周辺で開かれる。新酒ができる季節に合わせ、普段は出来栄を競い合う3蔵がタッグを組み、日本酒文化を大切にする飛騨のイメージをPRする。
(坂本圭佑)



①飛騨三蔵まいりをPRする(右から)渡辺、大坪、蒲の各社長―飛騨市古川町で②3蔵の酒をブレンドした記念酒



るため、同市の池ヶ原湿原保護センターと天生県立自然協議会に寄付する。

渡辺久憲社長は記念酒について「3蔵の特徴が融合し、飲みやすく味わい豊かでキレイな酒に仕上がった」とアピールした。大坪和己社長は「昨年は古川や高山からも買いに来てくれる人が増えてありがたかった」とイベント効果を実感。蒲敦子社長は「酒と飛騨のイメージを結び、観光の底上げにつながるように盛り上げたい」と期待した。

も開かれる。

市内の酒販店では同日、各蔵の代表銘柄である「蓬莱」「白真弓」「神代」を独自の比率でブレンドした記念酒を555本限定で発売する。720ミリ入り1本1635円(税抜き)。売り上げのうち1本当たり100円を環境保全に役立

3酒蔵は古川町の渡辺酒造店と蒲酒造場、神岡町の大坪酒造店。古川町で毎年1月15日にある「三寺まいり」にあやかっ、市観光協会とともに昨年に続いて企画した。開催日は「いい3つの蔵」の語呂合わせにちなんだという。

千円のチケットを購入す